

ecodyst

ハイドロジェン
hydrogen ロータリーエバポレータ



スマートな
自己冷却型
ロータリー
エバポレータ

hydrogen (ハイドロジェン) – 科学者が科学者のために考案した、
パワフルで設置面積の小さい最新型のロータリーエバポレータ

ロータリーエバポレータは、長い間、製薬や学術、政府機関、化学、ライフサイエンス、食品&飲料、クリーンテック、材料、環境部門の分析施設など、化学分析を実施する研究機関や業界の標準機器として使用されてきました。ロータリーエバポレータは、ヒーティングウォーターバス、回転式モータ、蒸発フラスコ、受けフラスコ、真空源、コンデンサで構成されています。従来のロータリーエバポレータでは、ドライアイスや液体窒素、水、グリコールなど、冷却媒体の外部の供給源が必要です。しかも、グリコールではさらに再循環型の冷却装置を用意しなければなりません。

Ecodyst 社には自社開発の革新的な自動冷却技術を採用。この革命的な進化が、ロータリーエバポレータの効率向上、設置面積の削減、出力の増大、さらには運用コストの削減を実現しました。Ecodyst 社の最新のスマート自動冷却技術は、生産性を大きく押し上げるだけでなく、生産性の障害となるダウンタイムの発生を防止します。この技術がもたらしたのはまさに、これまでとまったく違う考え方。グリコールやドライアイス、水を使用しない、つまり、従来の技術に付随する物質の主要な供給源を解消した、新しいロータリーエバポレータのベンチマークが生まれたのです。

用途の広い Ecodyst 社の hydrogen (ハイドロジェン) は、環境に優しく、エネルギー効率と信頼性に優れた持続可能なソリューションです。この現代的なロータリーエバポレータは性能も優秀。設置面積が小さく、卓越した効率を誇る、使用のタイミングを選ばないコンデンサが内蔵されています。運用コストと蒸発時間が削減できるため、研究者は難解な自分たちの研究に集中することが可能です。

水
不要

ドライ
アイス
不要

グリコール
不要



スマート自己冷却



スピーディな蒸発



設置面積が低減



優れたエネルギー効率



環境への配慮と優れた
信頼性、持続可能性

電圧：100～120V または 200～240V、50/60Hz
動作温度範囲：周囲温度～-40℃

エバポレータの温度	エバポレータの温度	冷却能力		
		Btu/hr +/-5%	W +/- 5%	消費電力 (W) +/- 5%
(°F)	(°C)			
-40	-40	620	182	220
-30	-35	835	245	259
-20	-30	1116	327	300
-15	-25	1458	427	343
-10	-20	1857	544	388
5	-15	2322	680	434
10	-12	2844	833	482

主要な特徴

- ✓ 内蔵のコンデンサが必要な冷却温度をしっかりと確保
- ✓ 化学薬品に強いコンデンサコイル
- ✓ 5Lのヒーティングバスは室温から180℃までの温度範囲に対応
- ✓ LEDのデジタル表示
- ✓ 電動式の蒸発フラスコリフト
- ✓ 回転数は20～280rpmに調節可能、タイマー装備、インターバル運転が可能
- ✓ 最大3000mLまで多彩なサイズの揃った蒸発フラスコ
- ✓ 化学薬品に強いステンレススプリングを装備したPTFE製の蒸気タブ

「皆さんご存知のように、私はグリーンケミストリーと産業プロセスを強く提唱しています。だからこそ、Ecodystだけの独自のソリューションは私にとって大変魅力的です。この技術が水やドライアイスのご供給源を必要とせず、ロータリーエバポレータに付随する廃棄物の大きな発生源を解消したことは本当にすごいことです。この技術に感動を覚えているのは私だけではありません。学生達も、システムがいつでも使用でき、（他の技術では30分以上も要するのに）5分もかからずに必要な温度に到達できることに興奮を覚えています。時間の余裕ができたことで、彼らは自分の化学的分析に集中できるのですから。」

—ジョセフ・デシモーネ教授、スタンフォード大学

「カリフォルニア大学バークレー校化学科の私の研究室では、2016年と翌年に1台ずつEcoChyllを購入し、大いに満足しています。システムの性能には本当に驚かされるばかりです。EcoChyllシステムが提供する冷却性能は大変優秀です。私たちにとって、冷却管の温度を制御できるかどうかはとても重要なのです。凝縮溶媒の凍結が妨げられ、効率が低下してしまうからです。特に気に入っているのは、EcoChyllは（冷却用の）ドライアイスが学科に納入されない休日や週末にも使えるという点です。」

リッチモンド・サーポン教授、カリフォルニア大学バークレー校

「ノースカロライナ州立大学の私の研究室ではEcoChyllを2台購入しました。システムの性能には非常に感銘を受けています。EcoChyllのおかげで研究室のワークフローが大いに簡易化し、ドライアスを扱わなくていいという点で、コスト節減と大幅な簡便化が実現したことは疑いありません。以前使っていた他の冷却システムに比べて、この製品はあらゆる点で優秀です。昼夜を問わず、必要性が生じた時にいつでもコンスタントな冷却が得られるのですから。」

ジョシュア・ピアース教授、ノースカロライナ州立大学



Apex, North Carolina, United States

TEL: 919-717-4061 |

Email: info@ecodyst.com |

ウェブサイト: www.ecodyst.com

輸入代理店



nippon science core

日本サイエンスコア

株式会社日本サイエンスコア

〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町4-1-1 ポートアイランドビル2F

TEL: 078-593-5880

FAX: 078-330-1247

ウェブサイト: <http://science-core.jp/>